

# 女性社員ら来月、CD発売

## 歌を通じ顧客開拓



スタイリストたちが製作したCDを手にするエニーズの川崎社長

提案型のアパレル会社を目指すエニーズ（大阪市西区、川崎昌子社長）は、若いビジネススマンのオーダースーツなどをコーディネートする女性スタイリストを演出するため、彼女たち自身が歌ったCDを製作、五月末に発売する。歌を通じて新規顧客の開拓を進める戦略は珍しい。

### アパレルの「エニーズ」

### イベント「キャラリス」PR

CDを吹き込んだのは、同社が抱える二十五歳から三十代前半の女性スタイリスト約三十五人。ユニット名は「ザ・キャラリス」。同社では、顧客のキャラクターを最大限に引き出すスタイリストを「キャラリス」とも言う手定だ。イベントなども開催し、製作枚数は二万枚。同時にスーツの探寸会などの意味。キャラリスは、三十代の男性をターゲットに

年間単位で専属契約を結んでもらい、オーダーユニットや靴などビジネスファッションから、ゴルフや釣りなど趣味のファッション、用具選びまでアワードバイスする。

専属契約によって中高年層が利用する街の仕立屋さんと一線を画し、若手ビジネススマンが求めるトレンドを提案する。川崎社長は「彼女たちはファッションだけでなく、食・住・遊なども提案できるような教育されたプロフェッショナル。CDでキャラリスの社会的認知を上げたい」と話している。

契約料は月一万一五万円を設定。例えば月三万円（年間二十四万円）の契約なら年間四着のオーダーユニットと靴をアドバイスし、現物も供給する。スーツの製作などは協力工場に依頼する。現在の顧客数は約二千人。